



子ども科学相談室



あなたの質問にお答えします！

質問: どうしダニはホコリのところにすみやすいんですか？

6年 マンチカン

答え: マンチカンさん、数の多いチリダニやコナダニなどの超小型のダニの好物は、小麦粉や人間のフケやアカや髪の毛やお菓子の食べカスやカビの菌糸などです。ホコリの中には、ダニの大好物の食べ物がたくさん入っているので、ダニたちは、ご馳走に囲まれて幸せな気分になるのかもしれないですね。でも、あまり快適すぎると、小型のダニの数が増えてしまい、今度はそれを食べる、ツメダニやイエダニなどの肉食のダニ(人を刺すこともある)が増えてしまいます。また、ダニの糞や死骸を吸い込むと、アレルギーの原因にもなりますので、ホコリをためないように注意してくださいね！

質問: カビはなんの条件を満たすと発生するんですか？

6年 白馬 榎

答え: 白馬 榎さん、カビは植物と違って、自分で栄養を作ることができない生物です。したがって、栄養のあるものにつついて、相手を分解することで、自分の成長に必要な栄養やエネルギーを得ています。この点では、植物より動物に近い生物ということになりますね。つまり「栄養」と「水分」と「ほどよい温度」と「酸素」の条件がそろえば、どんどん発生できます。

質問: 流れ星はなんで流れるの？

5年 KE&TH

答え: KE&THさん、流れ星を見たことがあるんですね！実は、流れ星というのは、空に光っているあの星たちが、急に落ちてくるんじゃないんです。ふだんは小さくて暗く見えない、ただ宇宙空間を漂っているだけの小さなチリが、地球の引力に捕まって落下し始めると秒速数十キロで空気と激しく衝突し、その圧縮熱(空気を押しつぶした時の熱)で燃えて、炎や火花を出しながら流れます。

質問: チョウチョウの羽にある粉がなくなると、どうして飛べなくなるの？

4年 プリン

答え: プリンさん、羽の粉が少しぐらいとれても蝶は飛ぶことができますよ。でも全部とれてしまったらどうなのでしょう？可哀想で実験できませんね。蝶の羽の粉は「鱗粉」といって、読んで字のごとく「鱗」のように1枚1枚はがれ落ちる構造になっています。鱗粉には、羽に綺麗な模様をつくらせたり、ほかには、おとを消したり、蝶をひらひらと揺れながら飛ばせたりする役割があります。ですから鱗粉は、鳥などによる攻撃から身を守るのに役立っています。



理科ニュース



～上高井郡市科学作品展について～

夏休みの自由研究ごろうさまでした。どの作品も、わくわくドキドキ楽しみながらやっている様子が伝わってきて、とてもうれしく感じました。

さて、今年も上高井郡市科学作品展が、下記により行われます。各クラスの代表の作品が審査(金、銀、銅、入選)され、展示されますので、友達やご家族と誘い合せて、ぜひ見に行ってください。尚、車で行かれる方は、無料の駐車券が会場いただけますので、ご利用ください。

記

1 期日

令和3年10月16日(土)～17日(日) 午前10時～午後4時

2 場所

須坂駅前 シルキー3階 第1ホール

※5年生MSさんの作品は県展への出品も決まっています。見つけてね！



理科室の旅行カフェ

～珍しい植物の宝庫:屋久島～



(前号のつづき)

屋久杉ランドに到着し、降りしきる雨の中を歩いて、屋久杉の中でも胸回り5m、5番目に大きいという「紀元杉」にたどり着きました。推定樹齢3000年、胸回り8メートル、高さ20メートルの巨木は威厳に満ち、見る人の心を圧倒し、言葉を失わせます。「…(無言)」

ふと我に返った時、急に寒さを感じて休憩所へ避難することになりました。途中、林の中に、雪の塊を見つけた。

「寒い！」濡れた服を着替えて、弁当を食べていると、壁に張られた新聞の切り抜き記事が目に入りました。「前年5月のGW中に、登山に来た高齢者が、低体温症で命を落とした。」というのです。「南の温かい島だ」という先入観による、雨や寒さに対する装備の甘さが原因で起こった悲劇でした。

早めに危険に気づいて小屋に避難して正解でした。翌日は、青空と白い雲の間に太陽も時より顔をのぞかせ、絶好のサイクリング日和となりました。道端に普通にミカンが落ちていたり、ガジュマルやタコノキやストリチア(極楽鳥花)などの見たこともない不思議な植物が次々に現れたりして、その度に驚いては自転車を停車させ、夢中で写真を撮っていました。

それにしても屋久島は、不思議に満ちた島でした。こんな熱帯の植物から亜寒帯の針葉樹林まで、たくさんの植物が共存しているのです。いつかまた屋久島に戻って来て、もつともつと自然の世界の不思議に出会ってみたいと思うのでした。(終)



